

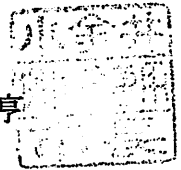


小子保発第2048号

令和5年1月18日

小金井市公立保育園父母の会 代表 青木 崇 様
くりのみ保育園父母の会 会場 小寺 貴之 様
けやき保育園父母の会 会長 杉山 智美 様
小金井保育園父母の会 会長 加藤 亜津紗様
さくら保育園父母の会 会長 上田 知志 様
わかたけ保育園父母の会 会長 大矢知 克磨様
小金井市公立保育園運営協議会
委員共同委員長（五園連側） 大島 康宏 様

小金井市長 白井 享



公立保育園の専決処分の執行停止と今後の取り進めについて（回答）

平素より本市の保育行政についてご理解ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。
令和5年1月5日付けで要望のあった標記の件について、下記のとおり回答します。

記

1. 専決処分によって可決された条例を元の状態に戻し、さくら保育園・くりのみ保育園の来年4月の0歳児の募集の実施と廃園に向けた手続きの停止を早急に行って下さい。

【回 答】

「小金井市立保育園条例の一部を改正する条例」は、令和4年9月29日付けで前市長により専決処分されています。同処分は10月7日の本会議において不承認とされ、前市長はそれに伴う必要な措置として辞任しました。しかし、専決処分の効力には影響はないとされております。

このため、私は12月21日に同条例を廃止する議案を市議会に追加送付し、12月26日の本会議での即決を議長に要請しました。市議会でも不承認とされた同条例については廃止する必要があり、4月1日入所に間に合うように小金井市

立くりのみ保育園・さくら保育園における0歳児募集を再開するための措置でした。

本議案が12月26日の本会議で議案が否決されたことを踏まえて、今後の対応については、改めて検討・調整していきたいと考えています。

2. 市が今年7月に策定しました廃園方針については撤回をしてください。

【回答】

くりのみ保育園・さくら保育園について段階的縮小から廃園とし、保育サービスの拡充を図るとする、令和4年5月に策定された「新たな保育業務の総合的な見直し方針」は撤回すべきだと、私は小金井市長選挙で訴えてまいりました。

しかし、ただ撤回すれば保育サービスの拡充、保育の質の維持・向上、保育体制等の考え方もゼロとなってしまいます。議案が否決されたことを踏まえて、今後の対応については改めて検討・調整していきたいと考えています。

3. 市全体の定員割れを理由に公立保育園での募集調整は行わないで下さい。

【回答】

市長として、市全体の保育ニーズを踏まえて、市立保育園の園児募集も行っていく必要があると考えております。また、市として努力を続けておりますが、市立保育園における保育士等の確保は年々厳しさを増しており、認可基準の中での募集を考える必要もあります。

4. 市民や専門家を含めた新たな審議会等の場で公立保育園の総合的な見直しに関して検討する場を設けてください。

【回答】

12月26日の市議会本会議において議案は否決されましたが、私は市立保育園の役割と在り方について、学識経験者を交えて市民参加で検討する必要があると考えています。令和5年度から検討委員会を設置して検討を始められるように設置条例案の検討及び予算措置に向けた準備を進めております。

検討委員会には、学識経験者、保育の専門事業者、園児の保護者、そして幅広い市民にご参加いただけるよう検討しています。

5. 公立保育園運営協議会での今後の協議については、平成25年12月18日に市

側と五園連側で締結をした「小金井市公立保育園運営協議会の運営方針に関する覚書」を遵守していくことを改めて確認させて下さい。

【回答】

この間も、公立保育園運営協議会の運営については、平成25年12月18日に小金井市公立保育園運営協議会の両委員長（子ども家庭部長と公立保育園父母の会選出委委員代表）が締結した「小金井市公立保育園運営協議会の運営方針に関する覚書」を踏まえて行われてきました。

引き続き、同覚書を踏まえた情報提供等を図ってまいります。

6. 上記4及び5を踏まえ、新たな審議会等と運営協議会が十分に連携されるようにしてください。

【回答】

新たな審議会等の委員構成及び公立保育園運営協議会の審議会での検討状況の報告等、新たな審議会等と公立保育園運営協議会の連携がスムーズに行われるように留意したいと考えています。

7. 今後の市との対話につきまして、認識違いが生じないように、改めて連携を密にお願いいたします。

【回答】

市では、この間も市立保育園の父母の会の皆様との対話に努めてまいりましたが、引き続き公立保育園運営協議会等を通じて、対話に努めてまいります。

8. 保育士体制問題については、当面の保育内容に負の影響を与えることが無いようにすることはもちろんのこと、中長期的な保育の質の低下や新たな審議会での審議等に影響が無いよう対応をお願いいたします。

【回答】

市として努力を続けておりますが、市立保育園における保育士等の確保は年々厳しさを増しており、保育体制についてご心配をお掛けして申し訳なく思っています。

市立保育園各園の保育現場では、それぞれの職員等がフォローし合いながら保育内容・保育の質の維持向上に努めています。様々な課題はございますが、今日も園児たちは笑顔で園庭を走り回り、日々健やかに育っていると思っております。

中長期的にも保育の質の維持・向上を進め、新たな審議会での議論に影響がない

ように、引き続き努めてまいります。